

「京都市交通事業アクションプログラム」実施状況（平成15年度）

平成15年8月に策定した「京都市交通事業アクションプログラム」は、「ルネッサンスプラン」に掲げた事業及び京都市交通事業審議会から受けた提言に関する事業などを全27項目に集約し、年度別スケジュールや目標数値等を明確にした行動計画であり、平成15年度の実施状況については、全27項目全ての取組が着手済みである。

取組項目		平成15年度の主な取組内容
利用促進の取組		
1	路線・ダイヤの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会提言を踏まえた系統の見直し（16年3月実施） 27号系統と203号系統において、乗継券の発行により相互の無料乗継を可能とすることで利用促進を図るモデルを試行実施 ・旅客増に向けた一部増強（16年3月実施） 4号系統の京都駅までの路線延長と延長区間（四条河原町～京都駅前）の直行運行 ・遅れの生じにくい・分かりやすいダイヤの設定（16年3月実施） 時間帯に応じた運行間隔の等間隔化（201号系統をモデルとして実施） 毎時同時刻発車（59号系統をモデルとして実施） 学休期間を平日ダイヤでの運行に変更
2	市バスの走行環境改善による定時性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・バス専用レーン確保のための全市的な取組の実施（市民への啓発に向けた取組 16年2月13・14・15日の3日間） ・おもてなしキャンペーン都大路作戦実施（春・秋2回で1,006人参加） ・毎週金曜日の17：00～19：00に四条通や河原町通のバス停周辺で、職員による立地啓発活動実施（304人参加）
3	運賃制度の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・トラフィカ京カードによる市バス・市バス、市バス・地下鉄乗継割引の実施（16年3月） ・市バス大学生通学定期券（甲）の均一区間内全線化の実施（15年9月） ・地下鉄駅の自動出改札機の一部をIC対応可能機に更新（15～16年度）
4	バス停留所の設置位置の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・現地調査を行い、改善が必要な停留所のリストを作成
5	IT等の活用による情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの発信内容の見直しと新規情報の追加（51ページ） ・ホームページトップページアクセス数 4,676件/日
6	案内表示の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客に対してのわかりやすい情報提供等を検討する活性化協議会の設置及び検討実施 ・京都駅前北口広場に頭上案内板、地下鉄今出川駅にバス乗継案内板を設置
7	バスロケーションシステムの増設	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムを8基設置（16年3月）
8	イベントの開催・参加	<ul style="list-style-type: none"> ・アートパフォーマンスin山科を毎月1回（第2土曜日）に開催 ・二条城築城400年・京都市動物園開園100周年・京都市美術館開館70周年記念事業、京都花灯路、伝統産業の日、新選組観光キャンペーン等、市の取組に参加
9	観光客誘致施策との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄1dayフリーチケットとのタイアップ（周年施設における特典優待付与） ・「京都メモリアルスタンプラリー」の実施（周年事業実施施設をラリーポイントに設定）

取組項目		平成15年度の主な取組内容										
付帯事業の取組												
10	地下鉄駅構内の有効利用	<ul style="list-style-type: none"> ・営業時間の延長 閉店時間20時→23時（15年4月） ・京都駅の「フレッシュジューススタンド」16年4月開店に向けた準備 										
11	オリジナルグッズの企画・販売	<ul style="list-style-type: none"> ・「NORINORI」（カードゲーム）300個（15年5月発売） ・「GOGOバス」（電動式バス模型）3,000個（15年9月発売） ・「スルッとKANSAIカレンダー」1,000個（15年11月発売） 										
12	広告制度のあり方の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・需要に見合った広告料の設定（15年4月改定） ・地下鉄駅階段・床広告実施（15年5月，京都駅） ・電照広告の空枠を利用した無料情報誌ラックの実施（15年12月，京都駅） 										
経営体質の強化												
13	「管理の受委託」の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・洛西営業所の「管理の受委託」実施（16年3月） ・8号系統の管理の受委託実施（16年3月） 										
14	総人件費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・給与等の3%以上の削減 ・各種手当の廃止・見直し ・職員数の削減 <p>人件費削減効果額</p> <table border="0"> <tr> <td>バス</td> <td>計画2,375</td> <td>地下鉄</td> <td>計画446</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>決算2,874</td> <td></td> <td>決算589</td> <td>（単位：百万円）</td> </tr> </table>	バス	計画2,375	地下鉄	計画446			決算2,874		決算589	（単位：百万円）
バス	計画2,375	地下鉄	計画446									
	決算2,874		決算589	（単位：百万円）								
15	経費の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・14年度予算に対する15年度予算の削減状況 <table border="0"> <tr> <td>バス</td> <td>△67百万円</td> <td>削減</td> </tr> <tr> <td>地下鉄</td> <td>△304百万円</td> <td>削減</td> </tr> </table>	バス	△67百万円	削減	地下鉄	△304百万円	削減				
バス	△67百万円	削減										
地下鉄	△304百万円	削減										
16	定期観光バス事業の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・「定期観光バスワーキング」を設置し，現状分析と今後の方針を検討 										
財政構造の強化												
17	「生活交通」（生活支援路線）の確保方策	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都市交通事業審議会」から，今後も公営企業として維持していく旨の提言が提出 ・枠組みの構築により，16年度予算において一般会計繰入金（10億1,500万円）を予算計上 										
18	地下鉄事業の長期収支改善	<ul style="list-style-type: none"> ・国の「地下鉄事業経営健全化対策」制度の申請を行い，16年3月31日に総務大臣から経営健全化団体に指定 ・交通局の健全化の取組に対する一般会計からの出資金は，16年度予算には，57億2,500万円計上し，25年度までの10年間で，総額約640億円 ・線路使用料を平準化し引下げを実施したことにより，15年度は66億円→55億円へ 										
職員の意識改革												
19	職員研修の充実と意識改革	<ul style="list-style-type: none"> ・所属研修（全職員対象）の実施 延べ受講者数2,349人 ・市バス運転士セミナー，地下鉄教育訓練等において，体験実習を取り入れた研修を実施 延べ受講者数3,059人 ・目標管理制度を課長級職員に導入（15年9月） 										
市民とのパートナーシップ												
20	情報公開と市民理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都市交通事業アクションプログラム」策定及び実施状況の把握 										
21	市民とのパートナーシップの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民モニター制度の実施 ・モニターレポートの実施（15年7，9，11月，16年1月） ・意見交換会の実施（15年8，10，12月） ・「お客様満足度調査」の実施 ・調査用紙の配布・調査実施（15年10月） ・調査結果の市会報告（16年2月） 										

取組項目		平成15年度の主な取組内容
公共交通優先型の交通体系の形成		
22	TDM施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「嵐山交通対策研究会」への参画 ・嵐山観光地交通対策取組（パークアンドライド）への参加（15年11月）
23	公共交通の社会基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設型バスロケーションシステムを設置 「ひと・まち交流館 京都」への設置（15年6月） 「ダイヤモンドシティ・ハナ」への設置（16年3月）
人や環境にやさしい公共交通		
24	バリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバス67両導入し累計189両（15年度末現在で全体の約25%） ・エレベーター音声案内（5駅、10台）及び車いす用副操作盤（4駅8台）の設置（16年2月） ・視覚障害者誘導用ブロックの設置（23駅、16年3月）
25	市バス車両の低公害化	<ul style="list-style-type: none"> ・天然ガスバス3両導入し累計27両 ・アイドリングストップバス64両導入し累計212両
26	地下鉄の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・非常停車通報ボタン12基設置（16年1月） ・車両間転落防止装置5編成設置（16年2月）
地下鉄の延伸		
27	地下鉄東西線の延伸	<ul style="list-style-type: none"> ・六地蔵～醍醐間の延伸 建設工事中（土木・建築・設備工事）（15年度末） ・二条～天神川間の延伸 建設工事中（土木工事）（15年度末）